

○増資の呼びかけ

成果と課題

今年度も年4回1,000円増資キャンペーンをおこない、組合員へ増資のお願いを実施しました。増資の結果は下記の通りとなります。

● 4月2回	18,505名	5,719,100円
● 7月1回	19,037名	6,070,400円
● 10月1回	18,873名	5,976,300円
● 12月2回	19,341名	6,067,300円

合計 延べ人数	75,756名	23,833,100円
------------	---------	-------------

ご協力
ありがとう
ございました。

生協間、その他団体との共同

○脱原発社会を目指した運動と取組

成果と課題

放射能検査は、325検体(農産物・水産物・加工品等)の検査を計画し、326検体実施(進捗率100.3%)しました。内、3検体で微量検出しましたが、生協内再検査および外部機関での検査で不検出との結果でした。また、食材セット(野菜)に関しては、コ

ープ自然派事業連合で実施している結果を提供していただいています。(食材セット提供分を含めると518検体実施)。検査の結果については、ホームページへの掲載および生協連絡版i-mailで報告をおこない、組合員へ情報開示しています。また、検査検体を提供していただいた取引先に対して、検査結果の報告をおこなっています。次年度は現状の流れを継続するとともに、取引先メーカーからの放射能検査結果情報を収集し、組合員へ情報提供できるようにしていきたいと考えています。また、野菜に関しては、コープ有機からの商品検査となるため、コープ自然派と野菜の検査情報(お互いの検査結果情報)を共有できるようにしていきたいと考えています。原発依存の社会からの脱却を目指した行動は、阻止ネットの主催する学習会への参加の他、9月と3月に開催された「さよなら原発全国集会」へ参加しました。また、映画「日本と再生」(監督 河合弘之)の上映会も今年度は、一宮生協との共催も含め4会場で実施し、100名以上の組合員に参加していただきました。

○一宮生協とは共に自立、発展できる関係を構築

成果と課題

物流、システム、商品、会計の分科会を開催し、個別の課題の協議を進めました。また、組合員サービスや制度の違い、業務全般に関わる課題については全体課題分科会を開催し、具体的に話し合いました。連合化までのスケジュールの検討もおこない、2019年度中の合流を確認しました。

2019年度の目標

2019年度 活動方針

1. 生協活動

組合員が主体となった活動を充実し、多くの組合員が運営に参画できる活動を構築します。

2. 事業推進

より強く安定した経営基盤を築きます。
今年度は供給高72億、経常剰余2300万を目指します。

3. 生協運営

組合員の声に耳を傾け、役職員を中心に多くの意見が出てくる運営をすすめます。

《生協活動》

組合員が主体となった活動を充実し、多くの組合員が運営に参画できる活動を構築します。

様々な形で、生協と組合員が関わる事は、生協の発展と基盤強化につながります。また、より多くの組合員がお互いにつながり、積極的な生協活動へつながる様に、組合員同士の接点の多様化を推進します。

(1) 組合員活動

●テーマ活動グループ、組合員活動グループ

活動メンバーが活動を楽しみ、学び、より多くの組合員の共感を呼ぶ活動となる様にサポートを継続していきます。また中期計画に向けて理解を深め、組合員活動の運営を組合員と共に再点検し、必要に応じ改善を進めます。まずは、活動グループメンバーで企画、運営が完結する様に制度の見直しをおこないます。

●おしゃべりひろば

地域コミュニケーションの場として、おしゃべりひろばが各地で開催されるように取り組みを進めます。そのために、組合員サポーターとして活躍しやすい仕組み作りをおこないます。

(2) 生協間や他団体との共同

- 原発再稼働に反対し、脱原発社会を目指した運動と取り組みを進めます。
- コープ自然派事業連合をはじめとする「生協ネットワーク21」との協同を積極的に進めます。
- 一宮生協とは共に自立、発展できる関係を構築して行きます。

《事業推進》

より強く安定した経営基盤を築きます。

(1) 前年比105.8% 72億7300万の供給高を目指し取り組みます。

《利用推進の取り組み》

- 自然派Style商品を広げていきます。
- 国産無農薬野菜・有機栽培(オーガニック)野菜の取り扱い5割を目指します。

- 産地直結、地産地消を広げる取り組みを進めます。
- 商品案内カタログは、“生活提案”をコンセプトに、生協生活の楽しさや食の安全を伝える紙面作りを進めます。
- 利用しやすく、利用するのが楽しい生協を目指し、システムやサービスを増やします。

《運動課題と合わせた利用推進の取り組み》

- 遺伝子組み換え食品排除の取り組みを進めます。
- 種子を守る取り組みの必要性を組合員や生協スタッフが理解を深める場を作ります。
- ネオニコチノイド系農薬フリーの取り組みとして、使用せず栽培した青果物については、ネオニコフリーマークを新たに設け表示します。
- 環境配慮型商品を開発し普及するなど、地球環境の悪化をおしとどめ、生活を守る努力をします。

(2) 仲間づくり目標は、加入10,200件、組合員数72,068名、昨対比107.5%を目指します。

●プチパーティ

新メニュー提案、プレゼント企画等で開催数増(800開催)を目指します。リピート率、加入率、加入者の供給等のデータに基づくスタッフ教育、質の高い開催のための受付マニュアル変更、後日フォロー案内の見直しなど、プチパーティが仲間づくりの一環であることを意識したマネジメントをおこない、開催数=加入数を目指します。



《生協運営》

組合員の声に耳を傾け、役職員を中心に多くの意見が出てくる運営を進めます。

- 生協の取り組みをより理解していただけるよう総代報告会を継続して開催します。
- みなし脱退処理を継続しておこないます。
- 事業面の効率化や業務統合を積極的に進め、グループの一体感を強めます。また、経営改革をさらに進め、信頼される組織・魅力ある組織を作り上げます。
- 内部統制の整備を生協連合会アイチョイスとともに更に進めます。
- 職員の自発的な学習を支援します。
- 年4回、組合員へ増資の呼びかけをおこないます。